

2018年度

支援先報告

# ●●●苦難の人々と共に生きる●●●

(公) シャンティ国際ボランティア会

## ミャンマー難民キャンプでの図書館事業

WE21 ジャパン厚木は、「公益社団法人シャンティ国際ボランティア会 (=SVA)」からの呼びかけに応じ、昨年度より同会が行うミャンマー難民のための図書館事業にささやかな支援をはじめました。

### ミャンマー難民キャンプ設立の経緯と現状

かつて“ビルマ”と呼ばれた国ミャンマーでは、1949年以降、政府軍との紛争により、人権弾圧や強制労働などから逃れた多くの少数民族の人々が隣国タイに避難しました。

昨年10月時点でまだ約97,000人の難民がタイ政府公認の9ヶ所のキャンプで生活しており、アウンサン・スー・チー氏率いる国民民主連合政権が発足後の現在も、少数民族勢力との停戦合意は主要な課題となっています。

現在、難民帰還の準備が進められてはいますが、帰還地の安全、土地、家、生計手段、医療や教育へのアクセスなどが未だに不透明なため、難民の多くは帰ることも出来ず、留まるにしても国際支援の減少でその日の糧に困るほど生活は苦しく、行き場が無い状況にあります。非行、薬物、自殺にはしる人もいるほどです。

### (公) シャンティ国際ボランティア会の活動

「苦難の中にいる人々と共に歩む」をテーマに、SVAは2000年から主にカレン族が多く暮らす7ヶ所の難民キャンプ内でのコミュニティ図書館を対象に活動しています。しかし、国際支援の減少が続き、今年度より21館の図書館事業を15館に統合しました。

不安を抱えた大人以上に、難民キャンプ内129校の学校（保育・小中高・短期大等）に通う25,000人以上の子どもたち（2018年8月現在）にとっても、図書館は学びの場として大切な場となっています。

「シャンティの図書館があり続ける限り、私たちは頑張ることができる。図書館がなくなったら私たちの支えもなくなる」という必死の声が聴かれています。

\* 資料・写真提供：(公) シャンティ国際ボランティア会  
<https://sva.or.jp/about/>



難民キャンプの様子



図書館での読み聞かせ



図書館でゲームを楽しむ子どもたち



ジールウさん(57才)

週に2~3回は図書館に通っています。妻は字が読めません。子ども達には十分な教育を受け、読み書きが出来るようになって欲しいと思っています。

WEショップ 厚木1号店 ☎ 046 (296) 2555

厚木市中町 3-18-5 Email:we21atsugi@mou.ne.jp

■ 営業日:月~土 (4月~9月:10:00~17:00)

(10月~3月:10:00~16:30)

■ 定休日:日曜日・祝日

